

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	DJK錦織工場	階数	地上2F
建設地	富田林市錦織東3丁目	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,750時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2022年3月10日
敷地面積	17,376㎡	作成者	山本建築設計室
建築面積	2,174㎡	確認日	2022年3月23日
延床面積	4,079㎡	確認者	山本庄吾



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・㎡)
②建築物の取組み	82%
③上記+②以外の	82%
④上記+	82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Qのスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	3.4
温熱環境	2.4
光・視環境	2.6
空気質環境	3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	2.9
耐用性	3.0
対応性	3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	1.5

**LRのスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.5
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.7
地域環境	2.3
周辺環境	3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
周囲の環境を乱さないような建築物となるよう配慮した。	0
<b>Q1 室内環境</b> 従業員の作業・執務が振動・騒音・室温等により阻害されないよう配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 従業員の作業・執務スペースが十分に確保され、機器についても業務に支障がないよう配慮した。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内緑化や運動スペースを確保し、快適な作業ができるよう配慮した。	<b>Q1 室内環境</b> 自然エネルギーの利用は無いが、過剰なエネルギー消費とならないよう配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 自然エネルギーの利用は無いが、過剰なエネルギー消費とならないよう配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 資源・マテリアルの効率の悪い使用方法とならないよう配慮した。
<b>LR3 敷地外環境</b> 敷地内の駐車場や駐輪場を設置し、周囲の環境について悪影響を与えないよう配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0133

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	IJK錦織工場						
	建設地	富田林市錦織東3丁目						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

## エネルギー消費量の報告

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.5	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		